

経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

港区は卸売・小売業の事業所や飲食店が多い、比較的商業の盛んなまちですが、その数は年々減少しています。一方で、区内の商店街では、地域と連携したにぎわいイベントなど、個性ある取組みが行われています。

以前は準工業地域にもものづくり企業が多く立地していましたが、近年、マンションや住宅建設が進む中、住工混在地域が増えています。

各地域の魅力ある資源を活かしてまちのにぎわいを生み出すなど、地域経済の活性化を図る必要があります。

訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり



築港・天保山エリア魅力パワーアップ事業 他

築港地区を始め、各地域の魅力ある資源をいかして、まちのにぎわいを生み出し、経済の活性化を図る

1 地域経済の活性化

区内の事業所や商店街などに対して、経営基盤の強化を支援する情報提供を行います。

町工場などが安心して操業できる環境を確保するため、実態やニーズの把握に努め、課題解決に向けた取り組みを支援します。

事業連携等によるビジネスチャンスを広げるため、区内外の事業所どうしの交流を促進し、サービスや商品の付加価値を高めるネットワークの拡充に努めます。

港区の魅力を発信する「みなトクモン」を活用し、「行きたい・買いたい・住みたいまち・港区」というブランドづくりに取り組むことで地域経済の活性化をめざします。

1) 中小企業の経営支援事業 【予算額 ー 千円】

区内中小企業の経営支援を目的として、西区、大正区などの隣接区や大阪商工会議所西支部、港産業会などの商工関連団体と連携して、中小企業支援情報の提供を行うとともに企業間交流を促進し、ビジネスチャンスの拡大をめざします。

目 標 企業連携につながる商談件数：3 件以上

結 果 今後の新たな加工ネットワークに繋がる面談があったと回答した企業：14 社

自己評価 目標達成

取組実績

・企業プレゼンテーション交流会の実施（1 回）

2) 港区魅力発掘・創出事業 【予算額 1, 527 千円】

「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区のイメージをモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざします。

また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざします。

目 標 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5 つ）

結 果 16 個

自己評価 目標達成

取組実績

「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：1 回

「オリジナル料理コンテスト」の開催：1 回

区民まつりや地域イベントでの情報提供

2 築港地区のにぎわいづくり

住民、商店会、企業、行政等の多様な主体によるまちづくりの取り組みをベースとして、イベントの収益等を活動資金として確保しながらエリア魅力の発信や創出に自立的・継続的に取り組むことができる仕組みづくりをめざします。

民間活力による豊富な観光資源の活性化や、クルーズ客船の誘致を強化する広域行政の取り組みと連携して、まちづくりの視点をもって、エリア全体の回遊性や、地域のホスピタリティの向上などエリア魅力の創出に取り組めます。

1) 築港・天保山エリアのにぎわいづくり事業 【予算額 1,000千円】〈新規〉

築港・天保山エリアで、地域住民や企業、活動グループ等が連携する「築港・天保山のにぎわいまちづくり実行委員会」や「花の海遊ロード美化協議会」が主体となり、のにぎわいまちづくりや環境美化の活動を行っています。更にこのエリアで活動する多様な活動主体間の連携・協働を進め、年間を通じたのにぎわいイベント等を開催することで、エリア魅力の更なる向上と活性化をめざします。

目 標 市民活動団体、地元企業、商店等が連携・協働して実施するのにぎわいイベントの開催：2回以上

結 果 4回

自己評価 目標達成

改善策 エリアの地域資源を活用して広く魅力発信を行い、イベント開催等により活動財源を確保するとともに活動の担い手を発掘する必要がある。

取組実績

- ・天保山手持ち花火大会(7月)
- ・赤レンガ広場手作りマルシェ(8月)
- ・天保山まつり(11月)
- ・ウィンターイルミネーションを大阪光の饗宴へ参画して実施(11月～3月)

2) 築港・天保山エリア魅力パワーアップ事業

【予算額 20,000千円】〈新規〉

築港・天保山エリアの魅力の向上と活性化に向けて、民間のアイデアと活力を活用して地域資源を活かした取り組みを重点的に実施することにより、地域・民間ベースで自主的に活動資金を確保しながらエリア情報の発信や魅力創出を持続的、自立的に推進することができる仕組みづくりをめざします。

目 標 地域資源を活かしたまち魅力の向上と活性化に向けて地域・民間ベースで自主的に活動資金を確保しながらエリア情報発信や魅力創出を持続的、自立的に推進することができる仕組みづくりにつなげていく。

・本事業の実施により築港・天保山エリアの来訪者の増加をめざす。

・区民モニターアンケート等で、築港・天保山エリアに魅力を感じると答えた人が平成26年度より10%の増加をめざす。

結 果 10.1%増 (平成27年度 86.4% 平成26年度 76.3%)

自己評価 目標達成

改 善 策 赤レンガ倉庫横広場活用事業の周知をはかり、自主財源を確保する。

取組実績

- ・自主財源確保方策として赤レンガ倉庫横広場活用事業：年間イベント開催日数 31日（来場者8000人）
- ・クラウドファンディング、コミュニティビジネス社会実験実施
- ・まちなかの回遊性向上事業：サイン整備（8ヶ所15点）
- ・HP、FB等SNSやマップ（2種類発行）による情報発信
- ・にぎわいまちづくり活性化イベント：天保山まつり、ウィンターイルミネーションの実施
- ・ファン倶楽部の設置



3 まちづくりに向けた資源・資産の活用

弁天町駅前土地区画整理記念事業用地については、今後、新たな公共施設を整備するとともに病院を共同事業者として一体的に開発し、弁天町駅周辺の活性化を促進します。また、市岡商業高校跡地やＪＲ臨港（貨物）線跡地、弁天埠頭など区内の遊休地や資産の活用については、これからのまちづくりの方向性や区民の声を踏まえつつ、関係局と連携して活性化策の検討を進めます。

地域にかかわりの深いプロスポーツを通じて、スポーツの楽しさや高度で魅力的な競技にふれられる機会を提供します。

1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討調査

【予算額 6,866千円】〈新規〉

弁天町駅前に整備する「（仮称）区画整理記念・交流会館」（平成33年度完成予定）では、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が活動・交流できる事業を実施することとしており、その具体的な事業内容を区民の意見をふまえてとりまとめるとともに、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いについて検討します。

目 標 「（仮称）区画整理記念・交流会館」での事業内容について、基本的な考え方をとりまとめる。

結 果 「（仮称）区画整理記念・交流会館」での事業内容について、基本的な考え方をとりまとめた。

自己評価 目標達成

取組実績

・公募区民等をメンバーとする「弁天町駅前土地区画整理記念事業検討ワーキング」や区政会議、パブリック・コメントなどによる区民の意見をふまえ、「（仮称）区画整理記念・交流会館」での事業内容等の基本的考え方を「基本構想」としてとりまとめた。また、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いについて、区分所有者と協議しながら検討を進めた。

2) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 一 千円】(再掲)

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、シュライカー大阪や大阪エヴェッサ等の協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げます。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200 人(年間)

結 果 152 人(年間)

自己評価 目標未達成

改 善 策 従来からの種目・チームにとらわれず、プロスポーツに触れる機会の提供を検討する。

また、区内小学生に無料観戦チケット配付等の企画を行った場合にその利用者数を把握することができないか検討する。

取組実績

- ・ 6/6：セレッソ大阪 港区民優待デー（57 名）
- ・ 9/23：セレッソ大阪 港区民デー（47 名）
- ・ 10/4：シュライカー大阪 港区民デー（48 名）

